

# 令和元年第2回今帰仁村議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和元年6月13日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 散 会 日 時 及 び 宣 告	開 議	6月14日 午前10時00分		
	散 会	6月14日 午後3時32分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透	10	與 儀 常 次
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員				
会 議 録 署 名 議 員	6	吉 田 清 尊	7	玉 城 みちよ
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	謝 花 良 竹	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	幼 保 連 携 推 進 室 長	宮 里 晃
	企画財政課長	田 港 朝 津	会 計 管 理 者	金 城 寛 樹
	学校教育課長	桃 原 秀 樹		
	社会教育課長	嘉 陽 健		
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

## 令和元年第 2 回今帰仁村議会定例会

議事日程第 2 号

令和元年 6 月 14 日（金曜日）

1. 開 議 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		一般質問	

○ 座間味 薫 議長 ただいまの出席議員は11名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

(開議時刻 午前10時00分)

日程第1.「一般質問」を行います。

順次発言を許します。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 令和元年第2回今帰仁村議会定例会において、さきに通告した一般質問を行います。

質問事項1、今泊区補償金について。今泊区への補償金は毎年支払われているが、補償金を支払うに至った歴史的経緯の説明と、補償金算定基準について伺います。

質問事項2、台湾ハブについて。特定外来生物である台湾ハブの生息範囲や捕獲数、根絶に向けた取り組みを行っているか伺います。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 おはようございます。それではただいまの8番與那勝治議員の質問事項1、今泊区補償金についての質問にお答えします。

今帰仁城跡は、昭和47年に国指定史跡となりました。昭和54年までは今泊区が管理していましたが、城跡の学術的な発掘や石垣の修復など、総合的に環境整備する上で、今帰仁村教育委員会が管理することが望ましいということで、昭和55年から現在の管理体制となり、同年から補償金が支払われています。補償金につきましては、今泊区との協議によって決定しております。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 皆さん、おはようございます。8番與那勝治議員の質問事項2の台湾ハブについてお答えします。

台湾ハブの捕獲数は湧川区、呉我山区が多く、仲宗根区を含むその周辺の字や兼次区での捕獲実績も出ています。捕獲状況から見ますと、村内での生息範囲は広がりを見せています。また捕獲数については、平成30年度の総数で327匹となっております。台湾ハブの根絶に向けた取り組みとしては、捕獲器の設置やハブ買い上げ事業等を実施しております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今泊区補償金に対してですけれども、これは今泊区と補償契約を交わしていると思うのですけれども、この契約書に今帰仁城跡指定地内に今泊所有土地というのがあるのですけれども、これは何をもって所有者が今泊区となっているのか。その辺の説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 8番與那勝治議員の質問にご説明いたします。

契約書にある所有者の確認についてなのですが、こちらは登記簿謄本を確認して支払いをしております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは私も資料請求をしましたので、多分同じ登記簿を持っているのですけれども。これはいつ申請された登記簿なのか、その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時05分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時07分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問、所有権移転ですね、登記簿謄本をいつ取得したということについてなのですが、昭和55年から補償の支払いが始まっています。その当時の登記簿謄本をとったということは、今確認をとれないのですが、直近では5月20日に登記簿謄本をとっておりまして、その中で3筆あるのですが、所有権保存がされているのが昭和53年6月16日。こちらが1筆、3筆あるのですが。2つ目に関しては登記がされている事項が確認とれないのですが、管轄転属による登記で平成17年1月24日。残りの1筆なのですが、そちらに関しては管轄転属により登記ということで、平成17年1月24日の登記を確認しております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 同じ登記簿持っているのですけれども、これ管轄転属による登記ということで、これ電子化に伴い登記が変わったとか、そういうことだと思うのですけれども。これいろいろ聞いてみましたら、所有者が字今泊となっています、資料請求したものでですね。現在のこの不動産登記法では、字所有の登記は認められていないということを知ったのですけれども、これ改めて伺いますけれども、何をもって字今泊の、所有者が今泊なのか。その辺、説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問ですね、今泊区が土地の所有はできないのじゃないかということと思いますが、こちらのほうは登記簿謄本のほうには、所有者国頭郡今帰仁村字今泊というふうに明記されております。その中の1筆について、所有者字親泊。所有権保存ということで、昭和53年6月16日に順位1ということで、今泊表記となっております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 その1筆はそうかもしれないのですけれども、この一番大きいところですね、2万9,421㎡ですか、今泊4874、この番地の所有者は字今泊となっております。先ほども言いましたけれども、現在の不動産登記法では字有地での登記は認められていないということなんです。認められていないこの登記をもって、字今泊と、今泊の所有としているのか。それに対して我々は補償金を払っているのか。その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問ですね、現在、字所有の土地が登記できないということですが。こちらのほうですね、管轄転属による登記が平成17年1月24日ということで、こちらの既存登記というので履歴が確認できると思いますので、こちらは速やかに確認して報告したいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 登記の履歴ということでありました。履歴も取ったんですよ、閉鎖登記。それによると、もっとさかのぼってさらに前になるんですよ。私が先ほどから言っているのは、不動産登記法、これでは字有地として認められない。認められていないこの登記に対して補償金を支払っているとい

うことなんです。さらに言えば、閉鎖されたこの登記によると、過去に5名の方が所有者として表題部に載るのですけれども、これは今帰仁区、当時のですね、今帰仁区、今帰仁区、親泊区。そのあとに仲宗根区、そして屋我地区の方も所有者となっているんですね。これからしましても、どういう経緯があって今泊区の土地になっているのかですね、その辺説明求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時13分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時14分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 字で土地を所有できるかということなのですが、こちらに関しては地縁登記ですか。字単位、今回で言いますと今泊区ですね。区が規約等を作成して代表者を決めて申請すれば、登記ができるような仕組みになっていると思いますが、その辺は詳細を確認して今回に至った経緯を報告したいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今おっしゃられたとおり、地縁団体として認められなければ登記できないということでありましたけれども、これですね、今現在の中で表題部しかない登記なんです。この表題部しかない登記というのは、第三者に対して効力がないということも伺いました。村として、この状態でいいのかどうか。この今泊区に対して、登記の更新、申請、その辺を促さないでいいのかどうかですね。先ほどもちょっと答弁あったのですけれども、改めてこの辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 まずは登記に関する状況を確認して、法律にかかわることですので確認して対処法を、どういうふうに対処するか確認していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この辺は確認するのは当たり前じゃないかと思っているのですけれども。これは毎年毎年補償金として払い続けて、この登記の更新、申請とか、この辺も見つめながらですね、役場としては、当局としては促す、この辺は当たり前だと思っております。現在、この補償金を毎年払っていますけれども、昭和55年から記録残っているだけで、令和元年まで、もう2億7,000万円余り払っているんですよ。そんな中、登記簿がこんなでいいのかどうか。これを根拠に今泊区の土地としているわけですから、この辺をもっとしっかり把握しないといけないと思うんですよ。これは今どうこう言ったって始まることでもありませんので、ぜひ区と調整しながら、この辺を見つめてほしいと思います。

近年の歴史的経緯をたどって見ますと、沖縄は本土に、復帰に伴って昭和47年5月15日、国の史跡として指定された。そのときに文化財保護法第69条第1項の規定により、史跡名勝または天然記念物に指定するとありました。そこで文化財保護法第69条第1項というのを見てみたのですけれども、登録有形文化財の所有者が変更したときは、旧所有者は当該登録有形文化財の引き渡しと同時に、その登録証を新所有者に引き渡さなければならないとあります。この文化財保護法に照らし合わせると、新しい所有者というのは誰になるのか。その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時18分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時19分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 所有者ということですが、現在の登記簿、今確認しているものでは今泊区であります。文化財保護法の村の立場としては、管理団体ですね、これは文化財法第113条になります。ということで、文化庁官が国指定文化財史跡今帰仁城跡の所有者今泊区、管理者今帰仁村ということで同意を確認してですね、村と今泊区も同意をしているものであります。所有者ということは、今の段階では今泊区ということで補償の契約をしております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 所有者、今泊区ということでありました。それともう一つですね、これもじゃあ同じなのかなとも思うのですが、契約書の中に、管理義務第3条、この中に、今帰仁城跡の管理は文化財保護法第113条により甲が行う。その中で、この第113条というのがあって、史跡名勝天然記念物につき所有者がないか若しくは判明しない場合または所有者若しくは第119条第2項の規定により選任された管理の責めに任ずべき者による管理が著しく困難若しくは不適當であると明らかに認められる場合と書かれております。この管理義務として第113条がありますけれども、この契約書にうたわれているこの第3条、文化財保護法第113条、これは何の意味をしているのか。所有者がいないのか、判明しないのか、何を意味しているのか、この辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時21分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時25分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 今帰仁村が管理をしていることについてなのですが、文化財保護法第113条の中には、所有者がないか若しくは判明しない場合又は所有者若しくは選任された管理の責めに任ずべき者による管理が著しく困難若しくは不適當であると明らかに認められる場合という事項があります。その中で、今泊区としては文化財の調査、発掘、そしてこれから整備していく上で、区で人を雇って対応するのは難しいということで、今帰仁村が文化財係もありますので、この発掘調査、保存、これからの整備に当たるとということで、文化庁と所有者の同意を得て今帰仁村が管理者ということになっております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 字では調査、発掘、整備が難しいということで、村が管理している。まさにそうですね、今までもいろいろな事業を行って、大金をつぎ込まれて、今度も災害があり、これもやはり修繕するためには多額の金額がかかる。その辺を村と協議をしながら、村と今泊区、この辺はもう対等の立場にあると私は思っています。これはぜひ協議をしながら、先ほどの登記簿もですね、これはしっかりと整備をさせないと、村も補償金として支払っているわけですから。法にうたわれている、登記簿では字が所有できないとなっているのに、まだ昔のままの現状でいるということもおかしい話でありますので、これはすぐにでも登記簿の更新、申請を行ってもらうようにしていただきたいと思います。

この補償金の算定基準についてでありましたけれども、これは今泊区との協議によって決めるという答弁がありました。今泊区との協議によってでありますけれども、これはなぜか協議じゃなく、この今泊区

出身の議員が一般質問で補償金の増額を求めたんですよ。増額を求め、それに対して村長も答弁としては、上げていきたいというふうに答弁しているんですけども。これは補償金を上げる前提の協議なのかどうか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 補償金の交渉協議に関しては、前年度までの3年間の契約で、今回が3月に協議が成立して4月1日の契約で、ことしを含めて3年間となっております。協議のやり方としては、まず入場者、入場料の推移ですね、それと今契約している間に補助事業等を活用して整備した事業費、そして人件費、維持管理費等を含めて総合的に判断しながら、村からまずは金額を提示しながら、その中で協議をして、補償金の協議を行っております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時30分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時30分)

8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 協議事項、入場料の推移、事業費、整備、維持管理、この辺を協議しながらということでありました。平成30年度ですか、この入場料収入も減って、入場者数も減って、その中で補償金は上がっているわけですよ。この協議事項と該当しないじゃないですか。この辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 補償の契約と入場料の推移が、入場料の状況が下がっている中で、考慮されていないというか、そういったことについてなのですが、前回の契約が単年度565万円になっております。平成28年度、平成29年度なのですが、平成30年度までですね、565万円になっております。今回、今年度から3年間で590万円になって、補償金額は上がっております。年度別で確認していきますと、平成27年度、平成28年度と入場料は1億円を突破して、入場料金自体は上がっております。平成29年度で若干1億円を割っておりますが、平成30年度に今回の交渉に入っております。こちらで行くと、平成30年度は実際ですね、8,900万円、9,000万円を割っていますが、平成30年度の実績としては、交渉時には暫定ということで、金額が見えないものですから、平成27年度、平成28年度、平成29年度の入場料の推移を見ながら補償金の値段を提示しているところであります。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 少し文言について伺いたいのですけども、この契約書にも補償金というふうにうたわれているんですけども、これは何に対する補償金であるのですか。これは今帰仁村は、何か今泊に対して悪いことしているのですか、そこら辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時34分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時40分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 今泊に対する補償金についてなのですが、なぜ補償金かということについて。今、現時点でいきさつを整理して、しっかり説明することはできないので、時間をいただいて早急に確認しますので、確認して整理して報告したいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 確認して報告したいということでありましたけれども、これ国の指示によって村が管理しているわけですね。村が奪い取って、今泊区の土地を管理しているわけではないので、補償する理由とか、名前も本当におかしいんですよ。そして補償金が増額していく、この理由もちょっと不思議でたまらないんですよ。この辺、増額していかないといけない理由ですね、先ほどもちょっとあったかもしれないんですけども、なぜ補償金が増額していくのか、その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問なのですが、補償金額が上がるということ、そして補償金自体の算定、協議していく内容ですね、基準だと思いますが。まず金額が上がるということについては、今までの契約書のとおり協議して決めるということで、上がる要素になっております。補償基準につきましては、土地を借りて、今帰仁村が管理、整備、運営等しておりますので、補償金という名目等も含めて適切な補償の名目。そして算定基準については、4月1日に今後3年間の補償契約を交わしておりますが、その中で覚書も交わしております。こちらでは2021年度に補償金の算定基準を設ける協議をあわせて行うということで、覚書を交わしておりますので、村としては算定基準を明確にして、村税を使って補償に当てるということもありますので、これはしっかり村民にも説明できるような基準にして、まずは算定基準をしっかりと整えていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 契約書にもあるということでしたけれども、今帰仁村の契約規則、これには村にとって不利益な契約を締結しないようしなければならないというふうにもあるんですよ。これは村にとって不利益じゃないんですか、説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時44分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時46分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの不利益ではないかということについてなのですが、村といたしましては所有者の今泊区と補償契約ができない状態で今帰仁城跡に観光客等が来訪しますので、契約できないことで今帰仁城跡が閉鎖になって、観光客が訪れることのできないことが不利益になると考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今のこの答弁からすると、例えば1,000万円、2,000万円要求された場合は、それを飲まないといけないのか。村は対等の立場じゃないんですか。これは文化財保護法の中にもあったんですけども、私権の制限、私事の権利、この辺を制限することはできると伺っております、文化財保護法でですね。なら契約できないとか、そんなことはできないと思うんですよ、また逆に文化財保護法ではですね。この辺、もう少し対等となって話し合いできないものですか。これは以前から私は言っていますけれども、今帰仁城跡というのは今帰仁村民がみんなで盛り上げて、桜まつりを見てもわかるようにみんなで盛り上げて入場者数、入場料収入、この辺増加に向けてやっているわけですよ。ふえたらふえたで、



何で今泊区だけがまた補償金がふえるんですか。この根拠が全然わからないですよ。これを示してほしいと前々から言っているけれども、これは全然示されない。先ほどの答弁からも、昨年、ことしにかわっても、入場者数が減っても補償金が上がっているじゃないですか。何でこう上がらないといけないのか、この辺の理由。また補償金、これはいつまで払い続けるのか。もう令和元年、今まででもう2億7,000万円余り払っていますよ、1つの字に。これはいつまで払い続けるのか、その辺説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 まず今泊区と村は対等の立場でいないといけないということで、補償金の基準をしっかりと決めないといけないということであると思います。こちらに関しては繰り返しになりますが、4月1日に契約時に覚書で補償金の算定基準を設ける協議を行うということを、覚書で交わしておりますので、その辺は今までの質問があった土地の登記と補償金の金額の決まる経緯等を確認して、しっかりした対外的に説明できる基準を協議してつくり上げていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは補償金とするから、やっぱり答弁も難しいし基準もつくりにくい、そうだと思うんですけれども。仮にですね、この登記がしっかりなされて、今泊区のものですよと堂々と言えるようになったときに、この土地を借りているわけですから、賃借料としてできないものなのか。これだったら誰もが認めるし、何の文句もない。入場者数、そういうのも関係ない、これはもう正当じゃないですか、真つ当な理由ですよ。これは土地の賃借料としてできないものか。これを聞いても、多分答弁難しいと思いますけれども、この辺も含めて協議の中ではぜひ示していただきたいと思います。いろいろ一般質問とかさせてもらっていますけれども、先ほども言った今帰仁村のシンボリック的存在に対して、入場料収入が上がったから補償金を増額してくれと、この辺のロジックというか、そういうのが通るのであれば、ほかの18字が怒るのは、これは当たり前なんです。今泊区が何でこの今帰仁城跡を管理してきたか、その辺の歴史的なこともあると思うんですよ。荒らされたりとか、大木を切って売られて景観が損なわれたとか。そういう神聖なる、この聖地を守ろうとして純粋なる気持ちで今泊区、過去の先輩方はこの土地を守ってきた、そういう経緯があるんですよ。それなのに今は補償金ありきのように感じて、本当に寂しい思いですね。これは補償金とせずに、ちゃんとした賃借料含めて契約して、今泊区にはもっと合った形、指定管理者としてなって、そこを指定管理する、守っていく、そういう役割を担う、そう考え直す時期に私は来ていると思います。これはぜひ検討して、協議の中で話し合っていたいただきたいと思います。これはまた追って一般質問させていただきたいと思います。

続きまして質問事項2のほうですね、タイワンハブについて。仲宗根でも、私が住んでいるところでもタイワンハブというのは目撃情報も多くて、自分の家でもありますけれども、ピータイムの側でもありますけれども、そこでもわが家に入っていくタイワンハブを発見したという方が結構いまして、これ係に言いますと、捕獲器を設置してもらいました。設置した後に、一ヶ月たないうちに捕獲されました。小さいタイワンハブだったのですけれども捕獲されて、その後まだまだ目撃情報もある中、大きいタイワンハブもいる中、なかなか設置されなかったんですよ。設置されない中で、今回こう一般質問を上げたら2日前ぐらいにまた設置されてですね、これはいわゆる付度というのか何なのかわからないですけれども。というふ

うに思っているのですが、この捕獲器は現在どのぐらいあるのか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ただいま8番與那勝治議員の質問についてご説明いたします。

捕獲器の数でございますが、数的には200台ほど所有しております。ただ設置状況は100台前後をめどに行っている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 200台ある中で、100台前後。平成30年度、同僚議員の一般質問の中では95個と答弁がありましたけれども、これからじゃあ捕獲器自体はふえて、設置が100台ということなのか、説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時55分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時55分)

仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 保有する捕獲器自体は、この2、3年ふえてはおりません。設置自体は、今担当の職員の状況とか、マウスの管理の状況とかも含めて100台を大体めどにして設置をしている状況でございます。その中でも住民の皆さんの声にできるだけ応じるために、捕獲器を3カ月ほど置いて、かからない場合はまたちょっとずらして置いてみて、捕獲の状況を確実なものにしていく工夫をしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 仲宗根の情報の中で、ずけやまの後ろ側のほうとか、一気に2、3匹見つかったとか、そういうのも頻繁にありました。捕獲器を設置しようとしたら、捕獲器が足りないと、そういうふうに聞いたと私は伺いました。それは我が家でも、先ほど言ったようなことなんですけれども、捕れた後ですね、まだ目撃情報があるにもかかわらず置けないんですよ、置けてない状況。100台余っているのに、これは使わないとやはりもったいないですし、住民に危害が加えられたらとんでもないことになります。今の現状において何がこうふやせない、人が足りないのか、何なのか、その辺どうなっているのか説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ただいま議員からありましたように、保有数はあるけれども、それを十分活用していない状況についてでございますが、議員からもありました人員の不足も確かに課題でございます。ただ捕獲器を購入して、その捕獲器がうまく捕獲できる状態にないと言いますか、少し加工して、よく捕れるような状況に工夫を担当職員がやっている状況もあります。それから中に入れるマウスの飼育状況もいろいろありまして、100台は最低限でも確保しようということで設置に向けて動いているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 人員が足りないということでありましたけれども、これ人員が足りないというのは予算がないということなんですか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 おっしゃるように、今一括交付金を活用してこの事業を実施しているところでございますが、予算の足りないというところも、私どもハブを駆除する担当所管としては感じているところでございます。ただほかにもパトロールを実施している職員もおりますので、そことの連携は十分にやっていくように工夫をしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この台湾ハブというのは、特定外来生物被害防止法にも指定されているわけであります。これは村だけがこう努力しないといけないものなのか。国、県からの補助とか援助とか、そういうのはないのか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ただいまの補助の件でございますけれども、沖縄県からの補助は今ない状態でございます。沖縄県で台湾ハブが実情として捕獲されているところは名護市、本部町、今帰仁村が一番多くて、それから読谷村、恩納村でもこの事業を展開している中ではありますが、いずれも一括交付金を活用した事業の展開が実情でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 タイワンハブというのは猛毒で、危険は周知されているはずなんですよ。これが今増加傾向にあると。特定外来生物に指定されながら、県が補助しない。県の一括交付金もあるので、その辺もやっぱり補助していただけないと、これ困るんですよ。村だけに任せられると人員が足りないという答えがあって、ハブの目撃情報があっても設置できない状況にあります。これ今に始まったことではなくて、過去の同僚議員の一般質問とか、この辺答弁でもずっと同じことになっているんですよ。これまたいつまでも人が足りない、金がない、そういうことになりかねないわけなんです。そうしてる間にまたふえていくんですよ。これぜひ県のほうに、根絶に向けた取り組みをしたいので、何かないかということで、歩み寄ったらどうですか。説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ただいま議員からもありましたように、今活用している一括交付金の範囲の中では、今の状況が精いっぱい状況になっておりますけれども、県のほうには各担当の会議、それから私どもが出席する課長会議、それから県が21世紀ビジョンに乗ったような形で新年度の予算を組む際にも声を上げている状況でございます。補助ということもありますけれども、制度の新設をお願いしている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 声を上げているが、反映されていないというか、そういう状況であると認識しました。余り注目されていないというか、この辺本当に、非常に残念なんですけれども。これ目撃されている地域住民というのは、本当に怖くてですね、暗い中で、車に乗るときにも、車のすぐそばで目撃情報があるんですよ。車に乗るのも怖い、降りるのも怖い、そういう状況にもあります。これでもし咬まれたとしたら、本当に村だけでなく県にも責任はあると思っています。この辺ですね、もう少し強く要望し

ていただきたいと思っています。このハブ対策担当技能講習会というのがあると思うんですけども、これは県単位とかじゃなくて今帰仁村でこういう講習会ができないのか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ただいまの講習会の件でございますが、確かに年に1度担当者に向けた会議がございます。これは沖縄県の環境衛生研究所が主催しているものでございますが、議員がおっしゃるように実務を踏まえた実体験の中でやるんですが、村でも開催できないかということを検討したことがあります。ただハブを実際持ってきて体験型でするのは非常に難しいという回答をいただいておりますが、生態系を学ぶとか、ハブに対する駆除の方法を学ぶということは十分にできるかと思いますので、そこは実施ができるように検討を進めていきたいと思っています。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 ハブを持ってきて講習を開くことは困難だと捉えましたけれども。今帰仁村で三百何十件捕獲されていますよね、この中から捕獲器でとらえたら、生きた状態で捕っていますので、これで講習できるんじゃないですか。この説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 村内でとれたタイワンハブを活用しての講習ということでございますが、捕れるタイミングとかも非常に難しいものがありまして、そこに住民を招集をかけてというのは、タイミング的に難しいのかなと思います。それから保管の状況も、安全性の観点からしますと、とれてから住民を集めて講習をするまでの期間の保障的なものも非常に懸念されることがあります。これについては、また検討事項かなと感じております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この講習会ですね、強く求めたいんですけども。昔の先輩方はハブの捕り方、その辺はうまいと思うんですけども、今の若い人たち、この人たちはやはりハブのとり方はわからずに、実際にハブを目撃しても見るだけで逃がすんですよ。実際、私はこのハブ対策担当者技能講習会、これに参加してきました。そうしたらですね、生きたハブの捕り方はこうですよ、ああですよという話をして、攻撃できる範囲も知れていますし、ここに行けば大丈夫ですよということも教えてくれます。これを見たら、やはり今まで知らなかった若い人たちもですね、ハブを発見したときの対処方法が変わってくるはずなんです。今は怖くて逃げているかもしれないけれど、そうじゃなくこうしたらできます、こうしたら対処できますというふうに教えてあげれば、また捕獲の数も変わってくるはずですよ。この辺はぜひ講習会を開いていただきたいと思っています。

最後にですけども、捕獲されたハブの買い取りですね、これは今幾らになっているのか。前はたしか1,000円で検討するというふうにあったんですけども、今は幾らなのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 村民の皆さんにご協力をいただいてハブの買い上げ事業を進める中で、ハブの生息範囲を確認するということが目的としておりますが、今現在も1匹500円で買い上げをしている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これ1匹500円のままとするのは、これはまた予算が足りないからとか、そういう理由なのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時06分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時06分)

仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 タイワンハブのほかにも、村内ではカラスとかマングースの買い上げを行って、カラスのくちばし等の買い上げを行っているところですが。カラスが補助が500円ございます。村から持ち出しで500円あります。マングースは1,000円で買い上げしておりますけれども、全額補助だったかと記憶しております。ですので村の財源を使って500円で買い上げするということは、カラスやマングースと足並みをそろえているというふうに理解をしていただければと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 カラスの補助というのは、どこからの補助になりますか。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対して説明いたします。

カラスのくちばしに関しては、県の補助で経済課のほうを担当して行っております。マングースも経済課のほうで行っております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 特定外来生物、タイワンハブ、これに対しての補助がないのもちょっと不思議でならないんですけれども、そういう話は上がっているのか、上がっていないのか、説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問なんですけれども、経済課のほうで有害鳥獣ということで、作物に直接害を与えとか、そういったものに関しましての扱いというか担当しております。足並みをそろえているということでもありますけれども、今回カラスに関しては減額の通知も来ております。1,000円ではなく800円になるということも聞いております。ですので、その辺の周知も含めて今後していく予定でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今の答弁で足並みはそろわなくなったんですけれども、これは有害鳥獣対策、経済課のほうではそうかもしれないんですけれども、これは人に被害を与えるものなんです。これに対してもやっぱり補助を求めるべきだと思うんですけれども、その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 捕獲に対する事業の実施に係る補助も含めて、今回買い上げ事業に係る補助も県のほうにあわせて声を上げていきたいと主幹課では思っております。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前11時09分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時22分)

次に、10番與儀常次議員の発言を許します。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 令和元年第2回今帰仁村議会定例会において、さきに通告した件について一般質問いたします。

1、今帰仁村コミュニティバスの導入時期についてお伺いします。（1）バス導入についての予算が計上されましたが、全国の地域で高齢者の事故が毎日のように発生している中、令和何年から運行を開始いたしますか。お伺いします。（2）バスはどのような方法で、どのようなバスをもって運行いたしますか。お伺いします。

2、今帰仁村の堆肥工場建設計画についてお伺いします。今帰仁村は堆肥を使う農家が多く、また畜産農家も多く、堆肥工場は必要だと思いますが、計画はありますか伺います。

3、今帰仁城跡の入場料・補償金及び字有地についてお伺いします。（1）今帰仁城跡の土地の一部は、いつごろ今泊の字有地になりましたか。（2）今帰仁城跡の維持管理費は、毎年幾らの経費がかかっておりますか。（3）今泊の字有地の土地代は、坪幾らでありますか。

4、「古宇利島マジックアワーRUN in 今帰仁村」後夜祭におけるステージ前の客席用大型テントの設置について。毎年、マジックアワーの時期には雨が多く、客席の大型テントは必要と思いますが、テントの設置計画はありますか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 10番與儀常次議員の質問事項1、今帰仁村コミュニティバスの導入時期についてお答えします。

質問要旨（1）運行開始時期について、本年度の当初で実施計画策定のための予算を組んでおります。計画策定に当たり、北部振興事業を活用する予定で進めておりますが、現在は同事業の採択を受けるために内部での検討を行っている段階であり、運行開始時期についても検討の段階であります。

質問要旨（2）バスの運行方法・バスの形状について、一般的な運行方法として、補助金を活用したコミュニティバスの実証実験中は無料で行い、実証実験が終われば有料とする方法が考えられます。バスの規格については、マイクロバス規格の大型車両だと維持管理費が大きくなり、また進入道路に制限が出てくる可能性も出てきます。一方、中型車両は小回りが利くという利点がある反面、少人数の乗車定員となり、団体で乗車できないという点もあり、総合的に勘案する必要があることから、現在検討を行っているところであります。

質問事項2、堆肥工場建設計画についてお答えします。堆肥工場建設については、畜産農家等からの要望があることは村としても把握しております。これまで他の市町村で整備された施設を対象に調査を行ってまいりましたが、販売状況、費用対効果等でかなり厳しい状況と伺っております。そのため、村としては慎重な対応が必要と考えており、引き続き情報収集に努めてまいります。

質問事項4、「古宇利島マジックアワーRUN in 今帰仁村」後夜祭におけるステージ前の客席用大型テントの設置についてお答えします。同大会は、実行委員会形式で行っており、大会予算との兼ね合いもありますので、次回大会に向けた実行委員会で話し合った上で決定していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ **玉城 奎 教育長** ただいまの10番與儀常次議員の質問事項3、今帰仁城跡の入場料・補償金及び字有地についての質問にお答えします。

質問要旨（1）今泊字有地につきましては、大正4（1915）年に今泊と第二監守の家系である具志川家が、今帰仁間切りを領有していた今帰仁御殿の尚弼から共同で買い取り、今泊区が管理するようになります。昭和18年に沖縄県庁で北山神社建設が決定されると、具志川家と今泊区は北山神社へ土地を寄附します。しかし戦争で北山神社の建設が中断した以降、今泊区が再び管理しますが、今泊区が土地を所有する正確な日付を特定する資料が確認できていませんが、戦中以降に今泊区が再び所有したと思われます。

質問要旨（2）今帰仁城跡の維持管理費につきましては、平成27年度で1億1,391万7,000円、平成28年度で1億852万8,000円、平成29年度は1億5,979万9,000円であります。

質問要旨（3）今泊の字有地の土地代につきましては、平成18年度に土地鑑定を行っており、坪当たり1万428円であります。

○ **座間味 薫 議長** 10番與儀常次議員。

○ **10番 與儀常次 議員** 再度質疑やっていきたいと思います。

コミュニティバスですね、再三前から一般質問していますけれども、3月も。全国では高齢者による交通事故が多発している中、これは今帰仁村でも起こりかねないですので、早急に検討すべき課題だと私は思っています。これを2年、3年延ばす間で事故が起こった場合、大変なことだと思っています。コミュニティバスによって、高齢者に免許証の返納をお願いできると思っています。今年は毎日のように本土では、高齢者によるペダルの踏み間違いとかありまして、国も動き出しました。東京都では、踏み間違いペダルということで、また事故防止装置を東京都は9割補助を出して安全対策するということでもありますけれども、我々はぜひこのコミュニティバスによって高齢者に免許の返納をお願いすることができると思っていますので、ぜひ早目の導入を、実証実験云々とありますけれども、ぜひそういうことでやってもらいたいです。その点について、再度村長の見解をお伺いします。

○ **座間味 薫 議長** 我那覇隆文総務課長。

○ **我那覇隆文 総務課長** 10番與儀常次議員のご質問についてご説明申し上げます。

平成29年度から実際住民へのアンケート調査等、コミュニティバスの事業実施について取り組んできたところであります。現在の状況としましては、平成30年度に企画書の段階までは作成されていまして、平成31年度、今年度広域のほうとヒアリングをしていく中で、進めるということで、当初の予定では次年度から実証実験、年度をまたぐ形になりますが、丸一年ぐらい実証実験をした上で進めていきたいということになっております。議員がおっしゃられますとおり、交通空白地域を解消しないことには高齢者の免許返納も進まないだろうということで、昨今では高齢者の交通事故というのも大分取り沙汰されてきているような状況もあります。今帰仁村においても、この辺、コミュニティバスについては事業としてどう進めていけるのか。今、村長の答弁にもありましたけれども、内部検討中というところもあります。

これなのですが、やはり事業をやっていく中で、事業の採算性とか継続性、いろいろなものを検討していかなければ、なかなか継続が難しい事業なのではないのかということもありまして、今現在は内部で、全庁にまたがってというんですか、いろいろ福祉の分野も関連してくる部分がありますので、その部分

でプロジェクトチームをつくって、その中で、内部でもんだ上で広域とのヒアリングも受けたいという考えを持っております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 それを早くやらないと、事故があつてからでは意味がないんですよね。ぜひ別の地域もコミュニティバスを導入して、実施している地域もあるんですよね。国頭、南部にもあります。国頭村は、高校生も乗せているんですよね。辺士名高校は大宜味村だけれども、向こうまで認めているという形でやっておりますので、ぜひ先に導入している市町村から参考にできると思いますので、維持、管理、いろいろぜひ見習って、早急にやるべきことだと思います。我々もあと少ししたらそれを使う可能性がありますので。ぜひこれによって、コミュニティバスを使ってください、免許を返してくださいと、地域にも言える状況をつくらないと、ただ免許を返さないではできないんですよね。車がないと買い物も行けない、どこも行けないのが今の沖縄県の車社会ですので、早目に検討して導入しない限りはだめだと思っています。目標を設定してやるべきだと思いますけれども、来年にするか、再来年にするか、大体青図面描いていくべき時期だと思います。前に各字調査に入ってきていますので。それとまた予算も調査予算として計上していますので、この予算を使いながら、早急にやるべきだと思いますので、再度答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまのご質問についてご説明申し上げます。

村は、当初実証実験において、どれだけの利用者が実際に出てくるのか。それから維持管理等も含めた採算性の問題とか、そういう問題をクリアするために実証実験を1年ぐらいやりたいということでの考えを持っています。広域とのヒアリングの中とかでは、やはり継続性のある事業でなければ意味がないでしょうと。その中で、実証実験が仮に赤字と言うんですか、採算性がとれない場合に、この実証実験の中でどのようにしていったら採算性がとれるのかも含めてやっていくのが実証実験の意味合いでしょうというご指摘も受けております。そのようなことを含めると、このコミバスのダイヤと言うんですか、走らせる時間帯であったりコースであったり、どのようにすれば地域住民の方々が多く利用していただけるのかというのも、先ほど言いました全庁的なワーキングの中で考えていかないといけないところだと思っています。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 じゃあこれが2、3年かかるとした場合、次の対策はどうするかということ。踏み間違いペダルはマスコミ等でいろいろと、高いんです。それとですね、もう一つ事故防止装置は何万円ということで、カーショップで取り付けということでありましたので。ペダルをいっぱい踏むと止まるということが、この前東京都知事もテストしておりますので、事故が起こる前にこの装置も補助をやるのかどうかですね。みんながみんなじゃないと思いますが、各字に危ないメンバーは字民がわかりますので、申請した場合、その装置の何万円の補助を半額とか、今後考えていくつもりなのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。

(休憩時刻 午前11時39分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前11時39分)



我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの踏み間違い装置の補助の有無、考えがあるのかということだと思いますけれども、今現在このコミバスで交通空白地帯、交通弱者と言われる方々をどうするかということで考えている段階でありまして、これを個人個人ですね、この自動車の踏み間違い装置の設置についての補助ということは、現在考えておりません。

○座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○10番 與儀常次 議員 では次に移っていききたいと思います。バスの方法、どんなバスで使うかということで、さっき村長から答弁ありました。マイクロバスでは多いしということでありましたけれども、私は小回りのきく10名から15名ぐらいのバスで十分人数は対応できると思っております。それは西地区、東地区に1台ずつ、2つあれば対応は可能だと思いますけれども、その点についてどうお考えなのかお伺いします。

○座間味 薫 議長我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまのご質問についてご説明申し上げます。

バスの規格、それからルートによってはバスの台数と言うんですか、そのほうも含めてでございますけれども、先ほど村長からも答弁ありましたように、やはりバスの規格については、大型の車両になると小回りがきかなくなると。ただ余り小さい車をもってきますと、維持管理の部分では少し経費は浮くんでしょうけれども、多数の方は乗せられないという一長一短あるんだと思います。その辺も含めて、先ほどから繰り返しになりますけれども、ワーキングの中でその辺も含めて話し合いを持っていきたいと考えております。

○座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○10番 與儀常次 議員 わかりました。では次に進んでいききたいと思います。

2番ですね、今帰仁村堆肥工場の建設についてということでもありますけれども、これは現在、今、畜産農家が一番困っている時期です。堆肥はあるけれども、もらう人がいない。トラックで畑に持っていったら、これ畑に撒くのにかかっている時間がかかっていて、農家がもらわないという現状がありまして。やっぱり工場をつくって袋に入れたら堆肥も使いやすいということで、工場建設をということでもあります。今帰仁村は、やんばるでは農家が多くて堆肥を一番使っている地域だと思っております。農業立村としてスイカ、花卉、もろもろの作物が今帰仁村から出て、農家がおりますけれども。近隣市町村では、堆肥工場はいっぱいあるけれども、一番使う今帰仁村がないということでありまして。それと畜産農家も原料、いっぱいあるのは今帰仁村だと思っております。ぜひ農家、畜産農家と野菜農家と連携してできる方法としては、別の市町村から堆肥を購入している状況の中で、せっかく畜産農家がつくった堆肥をどう使うか、我々で考えながら工場建設に向けてやらない限りはと思っておりますけれども、これについては再度村長の答弁を求めます。

○座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○久田哲史 経済課長 ただいまの10番與儀常次議員の質問に対しまして説明いたします。

おっしゃるとおり非常に必要性は感じているところでございますけれども、村長の答弁にありましたと

おり、近隣の市町村を確認しましたところ、かなり経営が厳しい状況と伺っております。やはり販売の面で、これまで計画上出てきたものが全くですね、実際実施に入るとなかなかうまくいかないとか、そういった状況も聞いております。ですので、やはり畜産農家もしくは農産物の生産農家と十分調整の上、ではどのような体制であればこの工場自体がうまく運営できるのか、採算性も含めて、費用対効果も含めしっかり調整していかなければ、また厳しい状況に追い込まれるというのは目に見えてございますので、そのあたりは十分調整の上、進めていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 私は、管理体制だと思うんですね。管理を農家に任す方法もあると思うんですね。畜産農家と相談しながら、工場をつくって、あるときは工場を稼働して、ないときはおのおのの畜産を頑張ってもらう方法もあると思います。今からそういう関係者と詰めて、検討していくことができるかどうかですね。農業委員会も通しながら、実際に堆肥をつかっている農家、畜産農家ですね、合同で会合しながら、今帰仁村の農業の発展に堆肥はなくてはならないものだと思っていますので、再度今後の取り組みとして、この堆肥工場について前向きに検討していく計画は、今から進めていくのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 おっしゃるとおり十分調整は必要かと思いますが、その辺調整していくのは進めていきますが、そういった提供する資料の中ですね、先ほど申し上げましたけれども、採算性の問題がどうしても出てくる状況でございますので、ざっと計算した中で、今帰仁村の排出量等を概算した中で、この今帰仁村から出る排出量から逆算する工場を考えますと、最低でも10億円のを整備しなければもたないのではないのかという試算もしております。それを踏まえて、じゃあその管理体制をどのように持っていくのかも踏まえて、事例を示しながら農家と、もしくはJAも間に入ってもらいながら、また専門的であります県の公社等、それから農林水産部の知恵もおかりしまして進めていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 では次に移っていきます。3番ですね、今帰仁城跡の入場料、補償金及び字有地についてですね。いろいろ8番議員も質問いたしましたけれども、何点か確認しながらやっていきたいと思います。

この字有地に、私はなっていないと思っていますね。この資料を見るとですね、個人の名前があるんですね。国頭郡今帰仁村今泊4班、今帰仁区4班という方と、もう1人今帰仁区4班、もう1人いるんですね。それともう1人ですね、親泊という地区の方もおります。それと仲宗根という方がおります。もう1人ですね、村外、国頭郡屋我地村字我部ということで、5名の所有者がこの登記簿にあるんですね。県でも国でも、お金は名義人しか払わないけれど、登記のですね。我々今帰仁村は名義人には払わないで、字に払っている状況ということで私は理解しております。8番議員からも質問あったんですが、この整理をすべきだと思っていますね。整理させない限り、本当はお金を払ってはいけないと思っています。名義人いないところにお金を今まで払ってきました、昭和55年からですね、ことしまで。これは字がやって、

責務だと思っていますのでね。字民にもこれを協議してもらいたい。これが協議だと思うんですよね。ぜひ来年からはですね、名義人に払うような方法をすべきだと思っています。どこの社会でも名義人にしか払っていないんですよね。何で今帰仁村は名義ない人に払っているのかな。これが今帰仁村全体の、いろいろ各字で出ている話です。

もう1件ですね。この維持管理費ですね、2番。さっきの答弁では、維持管理については、平成27年度ということでありますので、1億1,391万7,000円。平成28年度で1億8,052万8,000円、平成29年度は1億5,979万9,000円とありますけれども、これは経費ですね、収入から経費を引いたら、平成27年度が7,626万円赤字、平成28年度も1,869万円赤字、平成29年度も8,600万円赤字なんです。赤字してまでも今泊にお金を払っているんですよね、500万円以上。払ったお金と赤字を計算すると一千何百万円、我々一般会計から持ち出しして、村民が使うお金から今泊区にお金、500万円払っているという形なんですよね、金額は。それじゃあ大変なことなんですね。今まで各字のメンバーが話していたのが、この数字から見えてきますので、この件について今後どうお考えなのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 10番與儀常次議員の質問についてご説明します。

まず今泊区への補償金の支払い、名義人ではなくて所有者に支払いがされている件につきましては、閉鎖登記簿を確認して所有者、名義人を確認しまして対応していきたいと思います。そしてあわせて字で土地が所有できる地縁登記というものについても、あわせて確認していきたいと思います。そして維持管理費の収支の考えなのですが、こちらに関しては村としましては、現在所有者に補償金を支払いしておりますが、あくまでも補償基準を適切なものにして支払いはしていきたいという考えがありますので、この辺はまずは補償方法を検討して対応していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 今、課長の説明でも補償金となっていますので、さっきの議員からもこの呼び方はまずいということでありますので、土地代とか賃借料とか、今後変えるべきだと思いますけれども、これについて今後もこういう使い方でやっていくのかどうか。協議のもとで、名前を変える方法があると思うんですけれども。来年から補償金、これに及び賠償金と書かれているんですよね、資料には。これはこの言葉の使い方も変えるべきだと思いますけれども、来年からこの文言ですね、さっき言ったみたいに賃借料とか土地代とかに変えることができるかどうかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について説明します。

補償金の算定におきましては、4月に補償金の契約と一緒に覚書の中で補償金の算定基準を協議しながら定めていくということになっておりますので、適切な基準で協議して契約していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 協議ですね、毎年難航しているんですよね。難航した場合は、もう土地を返しましょう。上の黄色い部分だけが字有地なんです。字有地は字で管理してもらって、村有地を村で管

理する方法もあるわけなんですよ、交渉が難航した場合は。ぜひ強気で交渉していかないと。赤字してまでも、一般財源使ってまでも500万円払う必要ないと思います。

それとさっきもありましたけれども、これは昭和55年から補償金の金額を見ていると、毎回上がっている。最初は250万円でした。さっきもありましたけれども、同じ土地なのに、土地はふえていないけれど、毎回毎回上がっている、15万円、20万円、30万円という形で。250万円からことしは595万円になりました、倍以上ですね。入場料は下がっても変わらないですよ、上がってきました。これはどういう方法でやるのかなと思っています。今後、今まで我々一般会計から、村民が使うお金からやっていますので、会計を水道会計、国保会計みたいに別途会計すべきだと思います。しない限り見えてきませんので。入場料が幾らあった、経費幾らあったということで、ここの委託費を幾ら、見えてきませんので会計を別にすべきだと思いますけれども、これについてどうお考えですか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前11時58分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時59分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 まず補償金について入場料が下がっても上がっているという件につきましては、現在の契約の中では、字と協議して補償金を決めているということで、村としてもその辺の明確な説明が対外的にできないので、覚書のとおり算定基準を適切につくって、補償金が算定できるようにしていきたいと考えております。別途会計につきましては、当面の間は今の状況で、一般会計で対応していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 私は、将来においては別途会計して、透明な管理運営をさせるべきだと思います。そうでない限りは今後の城跡の管理運営にも支障があると思っています。我々は、赤字してまでも人の土地を借りて管理運営すべきなのかですね。これ村民の財政から食い潰している状況です、毎年。それではいかんと思っていますので、ぜひ会計は別にして、純利益の何割を納めるとか算定基準を決めるべきだと思います。今までの協議は上げるための協議でしかないと思っていますので、これは経緯を見たら上げるための協議なんですよ。協議は対等で、収入幾ら、経費幾らで、余ったお金黒字、赤字、発表しながら協議すべきであって、ただ何百万円するか、しないかという協議だけではだめだと思いますので、今後の交渉については計算出して、今までの経緯も出して、そうだからこうやりましょうというのが協議だと思います。今までののは上げるための協議にしか過ぎないので、今後別途会計できなければ、毎年この収入、維持管理、経費、委託管理も含めていろいろあるので、大まかでもいいです。提案できそうですか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 補償金の算定の仕方ですね、維持管理費がどの程度かかっているのか、その中で、今帰仁城跡の維持管理に見合うものについて、先ほど言った維持管理費の中で、全てが今帰仁城跡の管理にならないものもあると思いますが、この辺はある程度提示はできると思いますが、あくまでも土地を借りて管理しながらの今帰仁城跡の運営になりますので、この辺は適切な基準を検討して、適切な

基準で補償金の算定を協議していきたいと思っております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 ぜひ今後はそういう資料も提示しながら、協議すべきだと思います。どんぶり勘定でただ適当に決めている感じを村民は受けていますので、ぜひ何年から何年まで入場料幾ら、大体の経費はこれだけありましたよと説明しながら交渉、協議すべきだと思いますので、それについて今後協議の仕方は、そういった資料を持ちながらやるべきだと思いますけれども、どう今後取り組んでいきますか。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 これまでも交渉には、維持管理費も説明しながら補償金の協議は行っておりますので、與儀議員がおっしゃっているとおり、その維持管理等をしっかり把握しながら、説明しながら協議は行っています、今でも。これはこの維持管理費等については、説明しながら算定基準は算定基準として適切なもので協議して、補償金の契約には臨みたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 0 時05分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 0 時08分)

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後 0 時08分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 1 時40分)

嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 午前中に行った與儀議員との城跡の入場料と城跡、文化センター、グスク交流センターも含めての維持管理、運営費の収支についてなんですが、答弁のやりとりで赤字ということで、誤解を招くことがありますので、説明したいと思います。

維持管理運営費としては、グスク交流センター、文化センターの維持管理費も計上されています。そして史跡の整備等に関しても国庫補助金、県補助金、ふるさと納税等が投入されています。その分は国庫補助金、県補助金、ふるさと納税で収入があります。あとパンフレット及びチケット等の販売収入もあります。ということでありますので、正確な金額は今お伝えはできないのですが、赤字ではないということになります。ご理解願いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 午前中に引き続き質問いたします。この資料を見てみると、昭和55年ですね、250万円から始まって今の金額です。平成13年から平成19年、7年間は520万円、次の3年間は535万円ということで、次の平成22年から平成27年までは550万円、平成28年から平成30年までの3年間は560万円。ことし切りかえ年度ということで、令和元年に595万円と35万円アップしましたがけれども、このアップした根拠、理由ですね。これまたアップした金額は決定したのはやはり首長だと思いますので、このアップした理由ですね、村長、何の理由があって35万円アップしたのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 10番與儀常次議員の質問にお答えします。

首長が決定したということですがけれども、教育委員会のほうで字今泊と何回か協議を重ねまして、教育

委員会のほうとしてこれぐらい上げたいという案がありました。当初、もう少し高かったんですが、教育委員会と調整した結果、今回の額に決定いたしました。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 今泊区からこれぐらい上げてほしいという要望があったということで、大体受け取る側はいつも多いほうがいいんですね、少ないよりは。下げることも計算に入れて金額を提示するのも人間の常だと思うんですね。それでだんだん上がってきたと思っています。今聞いているのは、これぐらいは妥当だろうということで今までは金額アップされたということです。いま先課長から説明があったように、これは収入と支出を出して、純利益の何%払うとかという方法に算定基準を変えていかなければだめだと思っています。それと当局がオーケーしなければ、じゃあ原点に戻って、昭和55年に戻って250万円から仕切り直して一旦協議しましょうというのもありだと思えますよね。今上げた理由は、鮮明にないと思えますよね、計算上は。これぐらいは妥当だろうということで今まで上げてきたというのが経緯だと思います。各字でいろいろ疑問を思っているのは、これだと思えますよね、算定基準がなく。改正のたびにアップをされてきたという形がありますので、そろそろそういうのをやめてですね、算定基準づくりながら、両方対等に向かい合いながら交渉していくのが筋だと思います。これが村民に対する説明も我々できますので、今後どういった方法で取り組んでいくのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問にご説明いたします。

算定基準をしっかりと定めるということで理解しておりますが、所有者、名義人等ですね、今までの経緯等確認して整理して、そこをまず把握しながら、算定基準についても適切な基準を検討して、しっかり今泊区と協議を図りながら契約を進めていきたいと思えます。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 これについては、我々も今後の経緯を見ながら、また一般質問が必要だったらまた伺っていききたいと思えます。次に移ります。

次に移ります。答弁には「古宇利島マジックアワーRUN in 今帰仁村」の後夜祭の客席ステージの件で答弁ですね、同大会は実行委員会形式で行っており、大会予算との兼ね合いもありますので、次回大会に向けた実行委員会で話し合った上で決定したいと考えております。ということですが、この大型テントとやっていますけれども、当局は大型テントはどういう大型をイメージしているのかですね。サーカスみたいな大きいテントをイメージしているのか。またいいな運天港いちゃり場まつり、各村々で豊年祭に使われているテントを想定しての答弁なのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 10番與儀常次議員の質問に対しまして説明いたします。

事務局としては、テントとしましてパワーテント、10m角の10m、10m、トンブロックで固定したものを8張り想定はしております。面積からすれば8張り程度張れるだろうということでありまして、テナント出店事業者の意見交換会の中でそのような意見がございまして、それを踏まえて見積もっているということでございます。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 去年もことしも雨が降りました、イベント会場ですね。去年は風も強くてということでもありますけれども、ステージで頑張る村民のメンバー、またテナントのメンバー、頑張っていますけれども、肝心の中のテントがなくて、雨が降って、濡れてまでは見ないということで、ことしあちこち回って聞き取りをしました、テナントのメンバー、会場にいるメンバー。雨が降らなければいいけどな、雨が降った場合はテントがあったらいいけどなということがありました。この中でテナント側、観客席からは大きなテントじゃないんですよね。いいなまつりで使っているテントが2個ぐらいあれば対応できるんじゃないかということでもありますので、そういうテントを2張り、3張りということで、今後來年、再来年に向けて計画していくべきだと思いますけれども。いつも濡れて、雨が降らなかったのは1回しかありませんので。第1回目は津波でキャンセルなって、2回からは大雨ということでもありますので、ぜひこの時期を変えるかどうかですね、できなければ、雨は降っていますのでね。今後に向けてテント設置は必要だと思いますか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 議員おっしゃるとおり、晴ればそういった問題はないという認識でございますけれども、他の議員からもございましたように、時期についてもいろいろこれまで質問等がございました。ただその際にも、他のイベントとか、他の市町村とのイベントの兼ね合いとかそういったもろもろの理由で、また定着しているということもございまして、この時期にということになっております。事務局としても、やはり要望がある以上はこれは議論しなければならないと考えております。つきましては、そういった事務局会議とか出店会議の中で、費用の面も含めて可能かどうかということも鑑みながら調整していきたい、もしくは検討していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 これはぜひ検討すべきだと思います。村外から来たメンバーにも聞き取りをしても、雨が降ってもいいけれど、テントがあれば観戦できるけど、テントがなくて濡れてまではできないというのが多いですので、ぜひ2張り、3張りはテナントの真ん中1列でいいという意見ですので、準備すべきだと思います。来年からはそういう方法で、せっかく今帰仁に来て、毎年楽しみにマラソンして、一番最後の後夜祭を盛り上げようということで今帰仁のメンバーもステージを準備していますけれども、残念ながら雨でギャラリーがいないということでもありますので、ぜひこれは検討すべき課題だと思います。再度答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 先ほどの説明と重なりますけれども、しっかり検討して、事務局会議もしくは実行委員会等でも提案できるように準備していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 次に、座間味邦昭議員の発言を許します。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 それでは令和元年第2回定例会において、先に通告していた点について質問いたします。

1、今帰仁村こども医療費助成制度の拡充について。子供の医療費の無料化について、本村では独自に

中学校までの歯科診療費の無料化を行っているが、北部地域の今帰仁村及び本部町以外の市町村では、高校生までを対象とした通院、入院費の無料化に取り組まれています。安心して子供を産み育てられる環境を整えていく必要があり、医療費の地域格差があってはならない。若者や子育て世帯が安心して定住し、次の時代を担う子供たちを地域が支えていくことで、将来の今帰仁村の活性化につながっていくと思われるが、高校生までの医療費の無料化について見解を伺う。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

今帰仁村こども医療費助成制度の拡充についてお答えします。本村におけるこども医療費助成事業は、子供の医療費の一部を助成することにより、その保健の向上を図り子供の健やかな育成に寄与することが目的です。本村では、就学前の子供については、通院及び入院時の医療費の一部を助成、小学生及び中学生については、入院時の医療費の一部と通院については、歯科診療に係る医療費に限り助成しております。歯科診療に係る医療費の助成は、平成28年4月1日から助成を実施しており拡充したものです。本村の今後の高校生までの医療費の無料化の拡充につきましては、県の動向も勘案し検討してまいりたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 村長のほうから答弁いただきました。村として、一部助成することの目的として保健の向上を図り、子供の健やかな育成に寄与することが目的であると、それは第一の目的であると思いますけれども、本村としてはそれだけが目的なのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの5番座間味邦昭議員の質問についてご説明いたします。

まず医療費を助成することと、またその家庭家庭の状況もありますので、そこら辺も踏まえながら助成するものだと思っておりますので、今さまざまな子育ての事業等もありますので、この医療費助成ではないものと考えております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後1時57分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時57分)

喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

先ほど、こども医療費の拡充について答弁しましたがけれども、それだけが目的かということですが、そういうことではなくて、これをやることによって質問にもありましたように、他の市町村を含めて同じ北部市町村でもそれぞれ財政状況とかいろいろ違いますけれども、充実することによって若い人たちの定住とか、今帰仁村に住みやすい村づくりとかという面でも非常に大事な拡充策であります。今、県がこの拡充分については2分の1負担して、村が負担していますけれども、現在県のほうが通院については就学前までしかしていませんから、できれば県が拡充すれば村もすぐ2分の1は財政的にも頑張ればできると思うんですが、今、県がやっていないものを村がやった場合には100%村の負担ということになりますので。県の動向も見ながらということですが、県の出した今後の案としては、県のほうもこれは補助



事業とかにも該当しないと思いますので財政的な理由だと思えますけれども、県の方針としては小学校卒業までが平成34年度、中学校がさらにおくれて平成37年度ということになっておりますけれども、村としてはじゃあ県がやるまで待つかということですが、現状村がやっていない、いわゆる通院の小学校、中学校、高校までについてはまだやっていませんので、具体的に幾らかかったかというのはちょっと、他の類似市町村を参考にしかできないと思います。そういうものを参考にしながら次年度に向けて、高校生まで一気にすぐできるかということは、財政的な裏づけも必要ですので、県が3年後ということであれば、非常に同じ北部市町村の中でもおけていますし、特に中学校までとなるとさらに平成37年度ということでもありますので、次年度について県がやらない場合でも、どの程度の財政的な負担があるのか含めて、小、中については前向きに、県の結果を待つことなく検討はしていきたいと、次年度に向けてですね。高校生まで含めてですが、財政的に裏づけが厳しければ、当面小、中を優先的に次年度に向けて検討はしていきたいと、財政的なことを含めて考えております。

○ 座間味 薫 議長 5 番座間味邦昭議員。

○ 5 番 座間味邦昭 議員 今、村長のほうから答弁ありましたけれども、実際に今、今婦仁村として医療費の助成というのはほとんど県が主体となってやっていく中で、独自で歯科検診を中学校まで無償化していると。私、今回議会が始まる前に各議員に配られた資料の中で、移住・定住パンフレットというのをいただいたんですけれども。今、村は移住・定住を進めていこうという中で、やはりここに住みたいと思わせる1つが子育て支援なんですよ。その中の、パンフレットにも書いています医療費助成と。やはり子育て世代が住みやすくする、ここに住みたいと思わせる中には、やはり教育もあり医療制度もあり、いろいろな意味でのアイテムがあって、ここの地域は住んでみたいなど。さらに独自の自然環境、歴史がある、そういった魅力のあるところに住みたいなど。そこにまた現実があるという中で、実際に今北部では、本部町、今婦仁村以外というのは高校生までが医療費、通院費無料になっていると。実際今回、今答弁であった子供の育成とか、健やかに育てるのが目的と言っているけれども、村としては移住・定住の目的でもそれは充実しなければいけない案件じゃないのか。その辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 2 時02分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 2 時03分)

喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5 番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

ご指摘のとおり、若者が子供を産み、育てやすい環境づくり、それがまた定住につながると思います。ただ村の今の、すぐ高校生までやりたい気持ちもあるのはやまやまですが、県が2分の1出してない分について、全て100%村となると、今国保もかなり財政運営が厳しい中で、この財源はどこから持ってくるか。国保も法定外繰り入れ、毎年繰り上げ充用、ことしは、平成30年度はかなり繰り上げ充用も抑えられておりますけれども、そういう財政的に総合的に勘案して、拡充した場合に一般会計からになるわけですが、その中で特にふるさと納税の子供の支援のためという項目もありますけれども、そういう財政的な裏づけを少し具体的に検討して、やる以上は、これは村の財政状況に応じてことしはやったけれども、来年はやめますということにはつながらないような施策だと思いますので、十分検討して、次年度からは県の

対応が早くなれば幸いです。県の今のたたき台としては小学校が3年後、中学校が7年後ですから、次年度については財政的な裏づけを十分検討した上で、小、中については実施できる方向で財政的な検討も含めて進めていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 その財政、財政という話は、確かに財政をどう出し入れするかというのは確かに難しい案件ではあります。ただですね、例えば隣の、近隣の名護市など、医療費から給食費の無償化、保育料は国が10月から無償化にするかもしれないですけども、そういった意味で子育て支援に関してすごく充実、ちょっと特別な地域ではあるかもしれないけれども。ある話を聞いたところ、本部町の話をチェックと聞いたときに、やはり子育てをしやすからということで本部町から名護市に移り住んだ方がいるという話も聞いたことがあります。今帰仁村もこういう話があるのか。

それと最近よく国保税の話になるんですけども、国保税は確かに医療費がかかって赤字体質であると。県が定めた9万5,000円という医療費の査定と、今帰仁村が今払っている7万円余りの差額をどのようにうめていくかということで、すごく悩んでいるというところもあります。それもある意味、健康を促進することによって医療費を抑えるということは大切だけれども、それを支える方たちが逃げていくような施策があつては、幾ら努力しても健康だけではカバーできない部分があると思うんですね。それを含めてこの医療費の負担に関して、この子育て世代、一番医療費のかからない世代がまた支えているはずなのに、その辺をカバーしないでもし人口流出が生じてしまった場合に、この医療費というのは今の9万5,000円で成り立つのか。それと村として本部町のような案件があつたのか、聞いたことがあるのか、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

隣の市町村がこども医療費助成を拡充しているために、ある町からある市に移った例があるということでしたけれども、現在私が直接聞いた、移ったということは聞いておりませんが、現在該当する子供を抱えている保護者に聞いたらわかっておりまして、今帰仁村が小、中の通院は実施していないのを知っておりまして、今帰仁村もあつたらいいのにねということは2、3聞いておりますけれども、それを理由に移住したとか、住所を変えたというのは直接は私は聞いておりません。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの国保税、国保の県税運営にもかかわることではあるんですけども、今帰仁村の方で今流出というところだと思うんですけども、それが国保なのか社会保険の方なのかとか、そういうところでの分析がまだできないということはあるんですが、確かに今お話しがあつたやはり支えるところ、これがどう数字が見えるかということなんですけれども、若い方が出て行かれるというところで、もし国保であれば分母になっていきますので、健全な運営からいきますと、今医療費がかかっているのが後期高齢者というところでの医療費ですので、非常に厳しくなるかなということは感じております。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 そのとおりでして、実はこれは国保に限らず、やはり若い世代とか現役世代が万が一流出するような要素のある案件があった場合、もし発生してしまったときに、これは国保税だけじゃなく、ある意味村の地方交付税まで絡んでくる、単年度で見たら確かに財政負担ではあるかもしれないけれども、長期的なスパンで物事を考えたときに、現役世代が流出するおそれがある要素があると。しかも隣近所の自治体のほうがそういった充実した制度があるといったときに、今移住・定住でもこれだけ進めているのに、今帰仁村すばらしいな、すばらしいけれど隣のほうが住みやすいなど。結局、いろいろな意味で促進しても、隣の市町村でそのようなことをされてしまうと、やはり今帰仁村に住んでみたいけれども、やはり現実を考えたときには隣の町でいいかなということもあったり、またこれは移住に関してですけれども。基本的に定住している、今私たち住んでいる方たちが、これから先も末永く住むことがとても大切であると思います。正直な話、人口をふやすというのは基本的に難しいんですよ。どのように今の現状を維持していくかということも、とても大切な、ふやす夢物語だけじゃなく、現実、足元を見ながら今の現状をどのように守り抜くか。そのために今支えている現役世代をどのようにここに住みやすくするかというのは、とても大切な部分だと思うんですね。ただ単年度単年度の赤字だけで見るとかではなく、この移住・定住のパンフレットなんか見てもそうですけれども、どのように人口を維持しながら定住させていくかということの中では、実はこれは総務課だけの話じゃなく全てが絡んでくる、教育から医療制度から、本当に今回私、こども医療制度の話をしましたけれども、これは福祉課だけの問題じゃないんですね。どのように今、今帰仁村を支えているこの現役世代を住みやすくするかという1つの案として、こども医療費をというものがありますし、役場全体が定住をしていく、そして移り住むために必要なものは何なのかということを考える1つのきっかけとして、他の市町村にせめて同等なぐらいの制度をしていかないと、この先、来年で答えを出せと言ったら、これは出ないですよ。やはり10年、20年のスパンを考えたときには、県のやっているのを見て判断するじゃなく、ここは思い切った施策も打っていかないと、7年後に流出した後に対策を打ったってもう遅いんですね。今でも私は遅いぐらいだと思うんですけども、村長、その辺踏まえてですよ。この今帰仁村が極端に人口がふえるとか、夢物語はいいです。今の現状を維持しながら住みやすい村づくりをするためには、もう早く決断しないといけないとか、具体的に取組まなければいけないんじゃないかと思うのですが、見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

先ほど質問ありましたように、移住・定住を含めて、今計画を策定して、これから具体的に空き家バンクを含めて事業を進めていくわけですけれども。昨今ですね、移住をされる方もちょっと減少しているのかなということで、自然減が予想以上に大きいというか。よっぽど取り組みしないと自然減に、超すぐらいの増というのは非常に厳しいなと感じております。そういう意味で、質問にもありましたように、先ほど答弁しましたけれども、県のたたき台からするとかなり3年、7年後ということですから指摘のとおりだと思いますので、来年高校生まで一気に全部できるかどうかということも含めて、小、中を優先的にやるのか、財政的にですね。一気に高校生まで、ほかの北部の市町村並みにやるのか含めて、財政的な面も含めて、次年度現在よりは拡充できるような施策を、予算措置を含めてやる方向で前向きに検討してい

きたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 5 番座間味邦昭議員。

○ 5 番 座間味邦昭 議員 前向きに検討ということなんですけれども、改めてもう 1 回お話しします。

例えばこのパンフレット、今帰仁村は移住・定住を、思い切ってこの立派なパンフレットを作っています。まず移住をする方は、やはり住むからにはどういう地域なのかというのは、すごく徹底的に調べて、今帰仁村だけじゃないと思うんですね、他の地域含めて、沖縄県外の地域も含めていろいろな地域を調べている。その 1 つの中に、やはり子育て支援というのはとても大きなポイント、特に医療制度ということとはとても大切だと思います。その辺ですね、やはりまたさらに今の今帰仁村に住んでいる方たちが他の市町村をうらやましがするような状態ではなく、今帰仁村も負けないぐらい子育て支援を充実して、やはり住むなら今帰仁村だよと、環境も含めて、そういう施策を打っていかないと、今の村長の答弁というのは、一時的には確かに財政的な負担はあるかもしれない。でもこれは他の市町村だって同じことなんです。それよりもどのようにここに住んでいただけるか、末永く住んでいただけるか、子育てを充実して住んでいただけるか。またそういう方たちがいるからこそ地域が支えられて、村の財政にとっても人口というのは大きいですし、ある意味小学校だってあることが 1 つの地方交付税の算定基準になると。そういったただ医療費の負担だけで物事を解決するんじゃない、それは負担はあるのは当たり前であります。負担は大きい、でもその裏には、これが 10 年、20 年ここに居続けることを、減るのを防ぐことによって、人口が減るのを最小限に防ぎ、ふえたらまたオッケーですけれども、そして学校があり、地域の文化が守られ継承されていくというシステムができると思うんですね。それを県がやるから状況を見るとか、そういう他力本願ではなく、みずからどのように村づくりをしていくかという 1 つの手段として、子ども・子育て医療制度というのがあると思うんですね。これはほかの地域みんなそうですよ。負担なんかしたくないですよ。それでも地域を守るために、子育てしやすい、現役世代が末永くここに住んでほしいという願いを込めて、自治体は財政負担をしてやっているんですね。村としてもう一度村長、お伺いします。改めてそれぐらいの気構えでも、今帰仁村をこの守り抜くんだとか、住んでいる方たちがこれからもずっと住みやすい村づくりとして子育てをし、そして生涯ここに住んでよかったと言えるような地域をつくっていくか。村長、パンフレットは幾らでもつくれます。これを実際に本当に移住・定住をするためにどのような施策を打つかということで、改めてこの制度に関してもう一度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5 番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

先ほど答弁したとおりでありますけれども、村長の決意ということではありますが、若い人たちの住みやすい環境づくり、定住をしやすい、そしてそれが村の今の目標であります人口 1 万人という中で、指摘のとおり他の市町村、特に隣接、北部市町村がやっているものを今帰仁村、隣のあるところだけやっていないとなると、やはり医療制度を含めて、福祉施策含めて、充実したところに住みたい、そしてまた住んでいる人でも移りたいというのはいろいろ出てくると思いますので、そこら辺を踏まえて次年度に向けて実施する方向で、高校生まですぐやるかどうかというのは即答できませんけれども、小、中、高含めて実施する方向で財政的にも検討しながら、次年度から実施できるように努力していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 5 番座間味邦昭議員。

○ 5 番 座間味邦昭 議員 村長のほうから、次年度から実施していく気概でやっていくと。本当にここに住んでいる方たちが住みよい村づくりに、また移住の中でも何も県外から来るだけが移住ではなく、本当は今帰仁村に住みたいと思っている隣町に住んでいる方たちだって、これだけ医療助成制度があれば、また待機児童もなければ、こんないいすばらしい環境、私が生まれ育った地元に戻って住みたいと思う方たちも出てくると思うんですね。そういう意味でもこの医療制度、私は医療制度を 1 つ例に取り上げてはいますけれども、これは他の市町村は取り組んで、近隣では取り組んでいる中で今帰仁村が特におくれている。歯科検診は確かに素晴らしいです。でもやはりもう今は高校生までの通院費、入院費が無償になっているというところでは、やはりその格差はあってはならないですし、住みやすい村づくを今後ともつくっていただきたい。それは定住だけでなく国保に関しても、そういう住んでいる方たちがいることによって支えられている。ある意味医療費だけの問題ではなく、国保も自治体の財政に関しても大いにかかわってくる問題であります。ただ単年度単年度の赤字とかそういうビジョンではなく、やはり 10 年、20 年ここはかけてでもやらなきゃいけないんだという気概でですね、村長、もう今回 1 問しか質問してないので引っ張ろうと思ったんですけれども、もう無理ですね。村長、最後にですね、もう一度先ほど言っていた、次年度は取り組んでいくということを含めて、改めて最後にこの気概を答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5 番座間味邦昭議員の質問にお答えします。

最初の答弁はですね、十分検討した結果ということでの答弁になっておりますけれども、やはり質問にもありましたように、これだけある町と今帰仁村だけしか北部では県の範囲内でしかやっていないということでもあります。先ほども何回も言いましたように、県の対応が非常に、まだいつできるかもわからない状況で、県がやるまで待っているということは、さらに既に実施している北部の他の町村にも、村から若い人たちがまた移り住むんじゃないかという懸念もあるし、あるいはまた来たくても来れないようなことも予想されるというのは、指摘のとおりだと思います。そしてまた村の大きな施策である定住・移住事業、空き家バンク事業、また村長の施策にもありますように人口 1 万人の村づくりを目指してということでもありますので、かなり財政的には踏ん張らないといけないけれども、どうすれば財政を確保できるか含めて、次年度からこの拡充する、実施する方向で取り組みをやっていきたいと考えていますので、またいいアイデアがありましたら貸してください。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。

(休憩時刻 午後 2 時 21 分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後 2 時 31 分)

次に、與那嶺 透議員の質問を許します。3 番與那嶺 透議員。

○ 3 番 與那嶺 透 議員 令和元年 6 月定例会におきまして、さきに通告したとおり一般質問を行います。

質問事項 1、高齢者福祉行政について。今年度の村長施政方針において「地域の人々との結びつきを大切に、積極的に社会参加のできる希望に満ちた地域社会の形成に向けて、総合的な福祉サービスの充実をはかる」とありますが、具体的な取り組みについて伺います。

質問事項 2、旧兼次中学校の利用状況と今後の展望について。

質問要旨（1）現在、複数の事業所が入居しているが、それぞれどのような活動が行われているか伺います。（2）現在利用されている校舎の耐震性について伺います。（3）校長住宅跡地の現在の状況について伺います。

質問事項 3、村内通学路における安全の確保について。これまで何度も同様の一般質問を行っておりますが、なかなか改善が見られない。村当局として、児童生徒の通学路における安全確保について、どのような見解を持っているのかお伺いします。

質問事項 4、村運動公園内の防犯及び安全対策について。

質問要旨（1）先月 1 カ月の間に、盗難事件が 2 件も発生しました。今後の防犯対策についてお伺いします。（2）駐車場やウォーキングコースにおいて照明が少なく、安全の確保が困難になってきています。屋外灯の増設または付け替えができないか、見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 3 番與那嶺 透議員の質問事項 1、高齢者福祉行政についてお答えします。

本村では、元気な一般高齢者向け事業として、介護予防の普及啓発を目的とした水中運動教室や貯筋運動を定期的に開催し、各字で取り組んでおります。また、ゆいまーる事業では講師を派遣し、認知症予防体操教室やバランスボール教室を開催し、地域高齢者の健康維持・増進に向けた取り組みを行っております。単身世帯等一人暮らしに不安のある高齢者への支援として、配食サービスや緊急通報システムを設置することにより、24 時間体制で安否確認や救急搬送が行える体制を構築しています。平成 31 年度からは、本村社会福祉協議会へ「生活支援体制整備事業」を委託し、地域の関係機関や諸団体、地域住民のネットワークボランティア活動による地域の支え合いの体制づくりを推進し、取り組んでおります。

質問事項 2、旧兼次中学校の利用状況と今後の展望についてお答えします。質問要旨（1）旧兼次中学校へ入居している事業所の活用状況については、学童保育の事業所、デイサービス等を行う福祉事業所、染め織物等の工芸品体験施設の事業所、蚕の生産を行う事業所の 4 事業者が使用しています。質問要旨（2）旧校舎の耐震性については、昭和 56 年建築基準法改正により、改正年度以後建築の校舎が新耐震、以前の校舎が旧耐震と判断されます。旧図書館を含む 4 棟が昭和 56 年以前の旧耐震の建築、昭和 57 年以後建築の旧校舎は特別教室棟の 1 棟となっています。質問要旨（3）校長住宅跡地の状況については、平成 29 年度に建物を取り壊し整地しました。現在は空き地となっております。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 それではただいまの 3 番與那嶺 透議員の 質問事項 3、村内通学路における安全の確保についてお答えします。

国道 505 号沿いのガードレール設置については、平成 28 年度に道路管理者、本部警察署を含め危険箇所の確認及び対策について協議を行いました。が、いまだ設置されていない箇所があることは確認しております。横断防止柵またはガードレールの設置について、継続して要請していきます。

続きまして質問事項 4、村運動公園内の防犯及び安全対策についてお答えします。質問要旨（1）今後の防犯対策については、5 月の 2 件の盗難事件は、サブグラウンド駐車場のトイレの汚水を浄化するプロ

ワの盗難と車上荒らしです。ブロワーについては、柵で覆い固定し施錠することで盗難防止を行います。車上荒らしについては、指定管理者において速やかに注意喚起を促す看板を設置しております。今後の防犯対策については、屋外に設置されている備品等を、容易に持ち運ぶことができないよう固定または施錠します。

質問要旨（２）屋外等の増設または付けかえについては、ＬＥＤ照明への付けかえ及び増設について、補助事業の活用を含め検討したいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 ３番與那嶺 透議員。

○ ３番 與那嶺 透 議員 再度高齢福祉行政について質問してまいります。

村長の答弁の中で、単身世帯の一人暮らしの支援として配食サービスを行っていると言及ありましたが、これはどのような形態でやっているのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの３番與那嶺 透議員の質問についてご説明いたします。

一人暮らしですね、高齢者の方がふえている需要というところもあるんですけれども、日中の独居等も含めて、栄養のバランスがとれていないと。やはり食生活から体のバランスを崩すこともありますので、これを配食することによって、その方の訪問した際の様子も見れるというところも兼ねています。また利用者の安否等の確認にもなりますので、緊急に備えた事業ということでもあります。

○ 座間味 薫 議長 ３番與那嶺 透議員。

○ ３番 與那嶺 透 議員 そうですね、私が聞いたかったのは業者に委託しているのかとかですね、そういったものですね。例えばケータリングをやっている業者とかありますし、老人ホームのケータリング等あると思いますが、そういった事業所に対して村から委託して、この予算を投入してやっているのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 今現在、委託先は、配彩やんばる、それから乙羽園への委託ということで、今２事業所になっています。その前は社協のほうもあったんですけれども、またそのほうは２事業者へ速やかに社協との間で移行ができるように、また高齢者の負担にもならないように、引継ぎも兼ねながらということでやっております。利用料につきましては、１食の３５０円ということで提供しております。

○ 座間味 薫 議長 ３番與那嶺 透議員。

○ ３番 與那嶺 透 議員 この１食の利用料というんですか、これも村がある程度負担はするかどうかと思うんですが、どれぐらいのパーセンテージで補助をやっているのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 先ほどお話しした３５０円は、こちら利用料として個人のほうからいただくということになりますので、大体２分の１ぐらいです。

○ 座間味 薫 議長 ３番與那嶺 透議員。

○ ３番 與那嶺 透 議員 はい、理解いたしました。今後もこういった補助というんですか、支援ができるのが村としていいのかなと思うのですが、今後ですね、今、団塊の世代というんですか、村長たち

の年代がその団塊の世代に当たるかと思うんですが、この世代の方たちが10年後、15年後ですね、いわゆる後期高齢者の年代に入っていくと、どうしてもこの介護と、ぶつかると思うんですよ、そういった問題ですね。この年代、まず今団塊の世代の年代。今婦仁村内の人口の比率というんですか、そういったのがわかれば伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後2時44分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時46分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 今、手持ちのほうで第7期高齢者福祉計画、これに沿って事業のほうを進めているところであります。こちらのほうの数字を見てみますと、高齢化率で平成29年28.7%。それから先ほど話がありました団塊の世代ということで、平成37年のほうで33.9%ということで想定をされております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 何となく理解いたしました。なぜ今聞いたかという、このパーセンテージというか、大体これぐらいの人が7年後の想定で33.9%、約34%の方々が後期高齢の年代に突入してくるという理解はしているんですが、その後ですね、このままごっそり、またさらに10年後とかになると、やはり80歳を超えたりして90歳近くにもなったりしますので、やはり介護が必要になってくる方も、この33%、34%のうちの、この中のまた半分以上の方がなってくるというふうに予想はできるんですけども。これについて先ほどもちょっと言葉が出ましたが、10年後、20年後のこの介護に対する施策というか、そういったのも今のうちから準備しておくべきじゃないかと考えているんですが、その辺の見解を村長のほうで、今伺いたいんですけども。その施策というんですか、案を持っているのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの件につきましては、高齢者福祉計画のほうで3年スパンで見ていくことではあるんですけども、やはり継続的なことがまず必要なことと、あと社協のほうに、今また委託をしております。それはまた見守りですね、やはり介護予防、介護にならない予防、施策と、あとはそれに伴う他関係機関ということで社協と今回委託しまして、やはり地域で末永く暮らしていけるような、そういうパイプづくりですね、そういう人つながりを今回新しく事業を展開しております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今の課長の説明で大体、介護にならないような、介護予防の観点からの施策というんですか、考え方になるかと思うんですけども。どうしても要介護にならないのがもちろんベストではありますが、そうならないようにするのはもちろん行政の大事な役割だと理解しております。それでも介護になるということもやはりありますので、その点、今の介護施設、先ほど出ました乙羽園であったり、あちこちあるかと思うんですが、この10年後、20年後、今の現状のままの施設で足りるのかですね。今現在のこの施設の病床数、入居率というんですか、そういったのはどのような状況になっているか伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後2時52分)



○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後 2 時53分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 確かに今現状的に介護を要する、認知症を含めてなんですけれども、今非常に厳しい状況だと聞いております。その方々が、あと有料老人ホームですとか、他市町村のほうを調整しながら、具体的に職員のほうも動いているところではございます。それからまた10年後ですね、そのほうは今現在、やはり施設の充実というところでは、こちらの有料老人ホームを含めてなんですけれども、これは建設的なところになってくるものですから、そこら辺はちょっと読めない状況であります。

○ 座間味 薫 議長 3 番與那嶺 透議員。

○ 3 番 與那嶺 透 議員 課長の答弁のほうで、厳しい状況ですというふうな答弁がありましたが、これは今もう満杯状態という解釈でよろしいですか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後 2 時54分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後 2 時57分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ほぼ満室だというふうに理解しております。

○ 座間味 薫 議長 3 番與那嶺 透議員。

○ 3 番 與那嶺 透 議員 ほぼ一杯の状況で、今後10年、20年なるとまたさらに必要になるのかなというふうな、20年後ぐらいですか、さらにまたこの施設が必要になるのかなと感じているところでございます。それを村として、支援をして介護施設をつくるというか、やってもらうとか、そういったものもあるのかどうか、できるのかどうか。例えば今、社協も補助金をいただいて、この施設もやっているかと思うんですが、ほかのところもやっているかと思うんですが、今、今婦仁村では足りない状況になってくるのが予想されるわけで、それを支援してまたつくってもらうとか、そういった考えもあるのかどうかです。今のところなければいいんですけれども、その辺答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 今の質問の中で、今後施設を建てて、10年後を見据えて村のほうで備えていきますかというところではあるんですけれども、今、福祉計画ではそこまで計画のほうにはありませんので、そこら辺についてはまた見直し時期にまた有識者と話し合いながらということになってくるとは思います。

○ 座間味 薫 議長 3 番與那嶺 透議員。

○ 3 番 與那嶺 透 議員 見直しする時期が来れば、そういうふうに検討していくという説明であります。この第7期のやつ、これはいつごろ改定されたものか伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 第7期高齢者福祉計画につきましては、平成30年度ですね。見直したのは平成29年度で諮りまして、2020年までですね、2018年から2020年までの計画となっております。見直しの時期といたしましては、2020年に計画の見直しになってございます。

○ 座間味 薫 議長 3 番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 意外と短いスパンで出しているということで、そうなるときめ細かな見直しができるということで、とてもいいことだと思います。そのときには20年後の予想も立てながらやっていただきたいと思っております。この介護にならないで、いけるのが一番望ましいことではありますが、どうしても100%そういうふうに行くわけにはいきませんので、その受け皿として村としても、この施設であつたり職員、ヘルパーも含め介護従事者の育成もやはり必要だと思っております。ぜひこの2020年の見直しでは、もっと強力な支援ができることを検討していただきたいと思っておりますが、その点についての答弁を伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 今、提言のありました件につきましては、2020年度の計画見直し、10年先をまた見据えながら、受け入れ態勢はどうなっていくかというところで、しっかりとその中で協議して、計画等図っていききたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひですね、やっていただきたいと思っております。

続きまして旧兼次中学校の利用状況についてでございますが、4つの事業所が入居しているということで、それぞれあります。この4団体とも同時期には入っていないと思うんですが、大体何年の契約で、残り何年なのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 3番與那嶺 透議員の質問について説明いたします。

旧兼次中学校に入所しています4事業所でございますが、平成15年に学校が統合されてからの空き校舎を使っている状況でございます。時期は同一ではございませんが、当初の契約書を今持ち合わせていないので、いつから入ったというのはちょっと説明できないのですが、現在の入居者の予定賃借の期間としては平成33年の3月まで、令和3年の3月末までとして契約されております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 わかりました。これは4つの事業所とも同時期に契約が満了するという理解でよろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明します。

村としましては、その平成33年をめどに契約をしている状況でございます。また校舎の老朽化等もありますので、今後のその跡地利用については、その後に検討していく予定となっております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今の説明ですと、この契約が満了したらもう更新しないのかですね、更新する予定はないのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

現在、旧校舎につきましては、その後の耐震性の問題もあるんですが、施設としての消防法の適用を受

けている機材の整備といいますか、そちらのほうの指摘を受けている状況でございます。それを更新といいますか、整備しなおすとなるとかなりの金額が必要となることから、それと校舎の老朽化もある状況も鑑みて、最終年は平成33年3月末として今後の跡利用を考えていくという方針で調整を進めております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 これですね、入居している事業所のほうから、今老朽化によって耐震の問題が出ているということで、平成33年末で、年度末で契約満了ということで役場のほうからあったということは私も聞いているんですけれども、この耐震補強というんですか、そういったのをやれば大丈夫なんじゃないかなというふうにも思っているんですが、耐震補強さえすれば今言った老朽化の問題、少しクリアできるんじゃないかなと考えているんですが、その点ですね、どのようなお考えですか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明します。

耐震化の問題もございますが、消防法を適用されますので、その消防法をクリアするだけの施設整備が必要となってきております。それをクリアするとすると数千万円規模の金額になってきますので、そういう整備をしながら活用していくのか、またコンクリート構造物でございますので、古い物では昭和33年建築のものもございますので、そういったものを勘案しますと、建物としての寿命もある程度先が見えてきていると。また消防法の適用も受けて、使うのであれば整備しなくちゃいけないというところがございますので、そこら辺も鑑みて入居者とは平成33年までということで調整をしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今、消防法ということがありましたが、これはスプリンクラーであったりそういったものの設置の話だとは思いますが、この事業所の、ある事業所のデイサービスとか老人ホームを行っている事業所のほうなんですけれども、そこの事業所の方は、スプリンクラーは県からの補助も受けて、もちろん自費でも出して、設置して消防法をクリアしようとして、多分今そこの施設に関してはクリアしていると思うんですよ。そこもやはり契約更新できないというふうになるんでしょうか伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

デイサービス等を行っている事業所につきましては、補助事業と自己資金を投入してスプリンクラーなどを設置しまして、消防法はクリアされております。ただその建物を含めて校舎としての位置づけがございますので、それを全体的に村としましては消防法の適用を受けるような形で整備しないといけないという義務がございます。そうなってくると校舎側と言いますか、普通教室側も含めて数千万円規模の整備をしなくちゃいけないという状況もございます。それでありまして、その事業者からは契約を延長してほしいという要望は来ておりますが、今協議を進めている途中でございます。ただ当面は平成33年までのめどですよということで話を進めているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 その事業者もかなりの高額な自己資金を投入してこの施設を整備して、今高齢者福祉、先ほどの話とも少しかぶるところもあるんですが、今頑張っているところなんですね。まだ

この返済も正直残っていると。今平成33年で打ち切られるのも、利用者に対しても申しわけないし、従業員に対しても申しわけないというふうなお話をいただきました。この補助金ももらって、この整備をしたんですけれども、この補助金のもらい方も役場のほうに相談して、役場のほうからそういったのもありますよというふうに紹介されて、県のほうからもらって、その後足りない分は自己資金を投入したという経緯もあります。この辺ですね、考えていただいて、平成33年とか、契約ももちろんあるかもわからないですけれども、協議中ということでしたので、もっと入居者の目線に立った協議をしていただきたいんですけれども、その辺ですね、見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

同事業所につきましては、以前は同じ字内と言いますか、兼次区内の中で事業をしていたところ、台風によって家屋の一部損壊があって、急遽図書館跡を利用して入居したという状況がございます。その建物自体が一番古い、昭和33年の建物でございますので、その辺の心配もあるんですが、この協議と言いますか、話し合いの中では閉鎖という話ではなくて、次に移る場所を確保するという検討はできませんかという話し合いは一応持たさせていただいておりますけれども、整備については相当の金額が入っているので、何とか考えられませんかという、事業所からのお話もありました。実際にそのとおりであります、その中で今、村としても協議を、全て期限内に出ていけという話ではなくて、考えられませんかということで協議を進めている中であります。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひですね、寄り添っていただきたいと。寄り添ってこの協議を進めてもらって、どちらもウィンウィンになればいいんですけれども、なかなかそうはいかないかもわからないですけれども、限りなく利用者、この高齢者の利用者もそうですし従業員、この会社等もやはりそこは人間ですので、ぜひ寄り添って話し合いしていただきたいなと思っております。

次ですね、校長住宅の跡地の件なんですけれども、ここ今空き地になっているところなんです、駐車場になっているのかどうかかわからないですけれども、同じ車がずっととまっていたりもするんですよ。これは村として把握しているのかですね、伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

校長住宅でございますが、先ほど村長のほうから答弁があったとおり、平成29年に兼次団地を建設する際に、同時期に建物を取り壊して空き地となっております。工事期間中は工事車両と言いますか、工事にかかわる方々の駐車場として利用されていた経緯もあります。現在は、大体3台から4台ぐらいの車がとまっているという状況でございますが、持ち主を特定しているわけではなく、隣の事業所なのかなというふうには感じておりました。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ここは村有地ということだと思んですけれども、特に邪魔にはなっていないと思うので全然いいんですけれども。何というんですかね、いつも同じところに同じ車がとまってい

るから、同じ車がとまっているのでそこは大丈夫なのかなというふうにちょっと気にはなっていたんですけども。この土地ですね、そのまま今の状況のように開放してやって、近隣の方がとめたりもするのは特に問題ないのか、あるのかですね、伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明します。

現在空き地となっておりますので、利用の制限をかけている状況ではございませんので、どなたがでも利用できる状況なのですが、ただそういう同じ車がというところなのですが、その車がナンバーが外されている状況でなければ大丈夫なのかなというふうに考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 はい、理解いたしました。兼次小学校とか、運動会とか、保育園のイベントとかあるときには、そこの空き地もぜひ利用して、路上駐車が減らせるような、有効に使えればなというふうに感じております。

続きまして通学路の安全確保の件について聞きたいと思います。同様の質問をほかの同僚議員のほうもやっていますので、そんなには深くはやらないんですけども。これまで本部警察署や道路管理者を含めて安全対策について協議を行ったというふうに答弁がありますが、これ協議という中身ですね、どのような協議を行ったか。まだ設置されていないというのは、解決されていないということです。中身ですね、協議をしましただけではどうなのかなというふうに、どのような協議を行ったのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 3番與那嶺 透議員の質問に対して説明いたします。

通学路とか、年に1回8月に通学路安全推進会議というのがありまして、このメンバーには各小学校、中学校の教頭先生、本部署、土木事務所の維持管理班、役場の建設課で協議しています。この協議の内容につきましては、毎年6月、今月から7月にかけて学校のほうにお願いしてアンケートをとってもらって、現場の写真も撮ってもらって、8月に現場を確認して対策を、県の管轄、村の管轄、学校でできるものは学校の先生方にお願いして、議論をしてやっております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 これ以前、私もこの同じ質問をしました。同じような答弁でした。ということは、これが進んでいないということは、学校からもちょっと問題提起されていないのかなというふうに感じるんですけども。私もPTAやっぴまして、学校の教頭とか、そういった先生たちにこういうのがある場合は、ガードレールをつけるように申請したほうがいいんじゃないのというお話はさせていただいております。学校からは、こういうふうにアンケートの中ではこれが必要というふうに回答はもらっていないのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 学校からは要望ということで、兼次小学校からは毎年国道505号のガードレールの設置は来ております。村としましては、土木事務所と一緒に回っているので、土木事務所のほうには要請は毎年しつこく出しております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 理解いたしました。しつこく本当にやっていただいて、事故が起きてからではやはり遅いというのがありますので、この辺は強く要請、要望していただきたいと思います。先日ですね、滋賀県のほうでも大きな事故がありましたし、きのうか一昨日も兵庫県かどこかで児童の列に車が突っ込むというような事故がありました。こうなってからではやはり遅いので、ぜひ村としても強く要望していただいて、村でできることを粘り強くやっていただきたいと思います。

次に運動公園の防犯対策について伺います。サブグラウンドの駐車場のトイレのプロワーというんですか、あれが盗まれてしまったというのは、私はびっくりしたんですけれども。たしか10年ぐらい前にもあったというふうに聞いたんですけれども、その当時の状況、幼保連携推進室長が多分担当だったと思うので、その当時の状況を覚えていましたら説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいま3番與那嶺 透議員の質問にご説明いたします。

当時、10年ほど前、私が体育館、社会体育係として勤務していたころ、同じ箇所のプロワー、かなり大型の浄化槽であるので、プロワー自体も容量の大きなものを取りつけておりました。それが盗まれるということは全く想定していなくて、盗まれた後には一時的に業者をお願いをして、注文、発注する間は取りつけてもらって、取りつけた後はきちっとステンレスの囲いとアンカーを打ってですね、ねじを潰して鎖でというところの防犯対策はしていたというところなんです。時期が過ぎて、また今回の盗難に至っているという状況です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 このカバーもして、それも外して、ボールか何かでやったのかこれはわかりませんが、カバーされているのを外して持っていったというふうに、今回の盗難は理解しているんですが。このカバーまでやっているのに盗んでいくというのは、ちょっと考えられないことが起こってしまってびっくりしたんですけれども。今後の対策として、また同じように柵をつくって施錠もするとおっしゃっておりますが、これだけでどうなのかなというふうに思っています。今までのこと、今回のことがあったので。思ったんですけれども、防犯カメラとか、そういったもので予防ですよ、予防というか抑制のこともできるんじゃないかなというふうに思ったりもするんですけれども、その点ですね、この防犯カメラを公園内何箇所かにつけてやるとかすると、この抑制ができるのかなというふうにも考えております。盗難だけでなく、いろいろな意味での犯罪、車上荒らしももちろんそうですし、そういった抑制ができるのかなというふうに考えておりますが、その点ですね、見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問に説明いたします。

防犯の、抑制を促すということで、防犯カメラの設置についてなのですが、運動公園の実情と言いますかつくりというのはおわりのとおりゲートが1つ大きいのがありまして、両サイド柵で覆われて、進入、中に入ろうと思ったら誰でも入れるようなつくりではあります。そして守衛のほうもですね、夜間はおりますが、常時施設内を監視するのは難しいので、今言われたとおり昨今いろいろな犯罪等もふえてい

ますので、防犯カメラを有効的に設置できる箇所も検討していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひ効果的に何台か、もちろん1台では足りないと思いますので、効果的な場所に設置して抑制を図るという対策をぜひやっていただきたいと思います。ちなみに今回盗まれているので、今はもう回っていない状態ですね。トイレを開ければ恐らく相当な臭いがすると思っております。掃除している人が、余りにも臭いで盗まれているというのが気づいた状況でしたので。これがないとそのまま臭いが残るわけですので。またブロワーの購入とかも必要だと思いますが、いつごろ購入して設置するのかですね、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問に説明いたします。

盗難に遭って、新しいものを設置するには時間と費用がかかります。そうしていると、今おっしゃったようにもう臭いがきつい状況です。実際、私も確認しました。利用者の方からもクレームがあるというのは、報告があります。村としては、予算化して設置ということになりますが、現在浄化槽を委託管理している業者と相談して予算化して設置、またそれなりの盗難防止ができるような構造にするということがありますが、そこまでは特段の考慮をいただいて、できるだけ早目に設置はしていくということで調整しております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 そうですね、できるだけ早目に。村まつりが8月後半ですか、それまでにはぜひやっていただきたいと思います。

次に屋外灯の件なんですけれども、駐車場、今現在体育館の入り口のほうは自動販売機があって、この周辺は少し明るくはなっているんですが、やはり全体的にちょっと暗いのかなとも感じております。中には球が切れてついていないところもありますので。この辺ですね、この外灯なんですけれども、結構寿命が来ているのかなというふうな感じもするんですが、折れてるところもやはりありますよね。その辺ですね、把握しているかどうか。どれぐらい年数が経っているのか、この外灯ですね、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問に説明いたします。

運動公園の外周と言いますか、外の照明なんですけど、数としては75基あります。設置されたのは、確か平成の早い時期だったと思います。塩害等も含めてかなり支柱自体もさびている状況です。今使用しているランプ等も製造が中止されているということもありまして、村として早急にLED化を念頭に入れて、明るさについてもこの辺は用途に合った設置の基準がありますので、その辺を適切に考慮して設置する方向でこれから検討に入っていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひ今使っている水銀灯というんですか、それも生産できなくなって、輸入もできなくなると聞いております。これは体育館の中の照明もそうなんですけれども、2021年にはもう水銀灯の生産や輸入もされなくなるというふうに話を聞いておりますので、その辺も踏まえてぜひLED

化を進めていただいて、初期費用はどうしてもかかると思いますが、光熱費を押さえたりできるかと思う  
ますので、ぜひやっていただきたいと思っております。終わります。

○ 座間味 薫 議長 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日は、これで散会いたします。

(散会時刻 午後 3 時32分)